

Rainbow

～六中ユニバーサルデザイン～



3学期が始まり3週間が過ぎました。1年生はスキー教室も無事に終わり、3年生は入試に向けた準備が本格化しています。

今回は、化学物質過敏症についてお伝えします。裏面には、対処方法等をご紹介します。

化学物質過敏症とは

化学物質過敏症とは、芳香剤など私たちが日常生活で使用するものに含まれる化学物質に触れることで、頭痛をはじめさまざまな症状が現れることです。発症すると、わずかな化学物質に対しても敏感になります。発症の詳しいメカニズムは解明されていない状況です。



香水



柔軟剤

わずかに化学物質に接しただけで、
さまざまな体調不良をきたしてしまう病気です。



芳香剤



シャンプー・リンス



ヘアワックス



制汗剤

症状について

〈那覇市ホームページより〉

主な症状としては、頭痛やめまい、吐き気、倦怠感
気分が悪くなって我慢できなくなる、精神不安定、ににおいに触れるだけで調子が悪くなるなど

症状を引き起こす製品

柔軟剤、香水、アロマ、化粧品、シャンプー、リンス、整髪料、制汗剤、芳香剤、合成洗剤
漂白剤、消臭剤、ワックス、塗料、園芸用農薬（化学肥料）

周囲の理解が大事

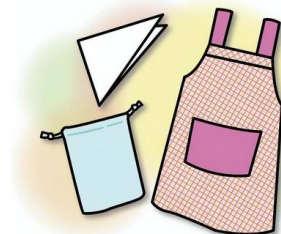
症状がある人の対策として、まずは原因物質からの隔離が一番です。匂いで体調不良を起こすのであれば、なるべく香料を含む日用品を使わない生活をする、などとにかく原因物質を避ける、触れないことが大切です。

〈周囲の人が気をつけること〉

化学物質過敏症で一番大事なのは、周囲の人々の理解です。

自分が特に気にならないわずかな匂いや化学物質であっても、つらい症状が出る人もいます。本人の努力だけではどうにもならないことが多いので、そういう症状があるということを理解しましょう。

そして自分たちも芳香剤や柔軟剤の使用に敏感になり、みんなで共有するものは使用を控え目にしたり、無香のものに変えていくなど、匂いに頼らない生活を工夫しましょう。



〈参考文献〉

『化学物質過敏症で苦しんでいる人がいます』（財）済生会ホームページ

https://www.saiseikai.or.jp/medical/column/chemical_sensitivity/

教室のゾーニング

六中では、教室の掲示物のゾーニングを継続しています。ゾーニングとは、スペースをテーマや用途に分けて、類似したもの同士で区分けすることです。

各教科からの課題等も見やすくなっています。



お子様のことでご心配なこと等ありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

第六中学校 校内通級教室主任（特別支援教育コーディネーター）^{おもと} 保明

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□